

平成 28 年度

岡山県後期高齢者医療広域連合

一般会計 歳入歳出決算審査意見書
特別会計

岡山県後期高齢者医療広域連合監査委員

目 次

各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象	1
第2 審査の期日	1
第3 審査の方法	1
第4 審査の結果	1
1 決算の総括	2
(1) 決算規模	2
(2) 決算収支	3
2 一般会計	4
(1) 歳入	5
(2) 歳出	8
3 後期高齢者医療特別会計	10
(1) 歳入	11
(2) 歳出	15
4 財産に関する調書	18
5 むすび	19

(注) 文中の比率、各表の比率及び数値は、原則として表示の1桁下位で四捨五入した。
このため計数が一致しない場合がある。

平成28年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算審査意見

第1 審査の対象

平成28年度岡山県後期高齢者医療広域連合一般会計歳入歳出決算

平成28年度岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算
(決算附属書類)

平成28年度各会計歳入歳出決算事項別明細書

平成28年度各会計実質収支に関する調書

平成28年度財産に関する調書

第2 審査の期日

平成29年7月4日

第3 審査の方法

審査に当たっては、平成28年度岡山県後期高齢者医療広域連合各会計歳入歳出決算書及び証書類並びに歳入歳出決算事項別明細書、実質収支に関する調書、財産に関する調書が関係法令に適合して調製されているかどうかを確認し、これらの計数を会計管理者所管の関係諸帳簿及び証拠書類と照合することにより実施した。

また、予算の執行状況等については、これらの資料のほか、例月出納検査及び定期監査の結果も考慮に入れながら、必要に応じ関係職員からの説明を聴取し、その適否について審査した。

第4 審査の結果

審査に付された各会計歳入歳出決算書等は、いずれも関係法令に準拠して作成されており、計数は関係諸帳簿と符合し正確であると認めた。

また、予算の執行については、要望及び検討事項はあるが、おおむね適正であると認めた。

なお、各会計の決算状況及びこれらに対する審査意見は、次のとおりである。

1 決算の総括

(1) 決算規模

一般会計及び特別会計の決算額は

歳入	2,639億 381万 1,376円	(予算現額に対する収入歩合	100.00%)
一般会計	6,729万 7,288円	(同)	100.00%)
特別会計	2,638億 3,651万 4,088円	(同)	100.00%)
歳出	2,637億 9,652万 3,222円	(予算現額に対する執行率	99.96%)
一般会計	6,411万 7,897円	(同)	95.28%)
特別会計	2,637億 3,240万 5,325円	(同)	99.96%)
歳入歳出差引額	1億 728万 8,154円		
一般会計	317万 9,391円		
特別会計	1億 410万 8,763円		

となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

決算規模の推移

年度	歳入		歳出	
	決算額	対前年度 増、減(△)額	決算額	対前年度 増、減(△)額
26	257,889,879,852円	8,810,086,736円	257,793,238,223円	8,817,132,403円
27	263,081,592,689円	5,191,712,837円	263,030,554,052円	5,237,315,829円
28	263,903,811,376円	822,218,687円	263,796,523,222円	765,969,170円

(2) 決算収支

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、一般会計及び特別会計の総額では、歳入歳出差引額1億728万8,154円の余剰金が生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では5,624万9,517円の黒字となっている。

決算収支の推移

区 分		28年度	27年度	26年度
歳入総額 A	一般会計	67,297,288	63,412,513	61,447,370
	特別会計	263,836,514,088	263,018,180,176	257,828,432,482
	計	263,903,811,376	263,081,592,689	257,889,879,852
歳出総額 B	一般会計	64,117,897	62,309,998	59,882,704
	特別会計	263,732,405,325	262,968,244,054	257,733,355,519
	計	263,796,523,222	263,030,554,052	257,793,238,223
歳入歳出差引額 (A-B) C	一般会計	3,179,391	1,102,515	1,564,666
	特別会計	104,108,763	49,936,122	95,076,963
	計	107,288,154	51,038,637	96,641,629
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	一般会計	0	0	0
	特別会計	0	0	0
	計	0	0	0
実質収支 (C-D) E	一般会計	3,179,391	1,102,515	1,564,666
	特別会計	104,108,763	49,936,122	95,076,963
	計	107,288,154	51,038,637	96,641,629
単年度収支 E-前年度のE	一般会計	2,076,876	△462,151	182,731
	特別会計	54,172,641	△45,140,841	△7,228,398
	計	56,249,517	△45,602,992	△7,045,667

2 一般会計

一般会計の決算額は、歳入 6,729 万 7,288 円(予算現額に対する収入歩合 100.00%)、歳出 6,411 万 7,897 円(予算現額に対する執行率 95.28%)、歳入歳出差引額 317 万 9,391 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

一般会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
27	63,412,513円	1,965,143円	62,309,998円	2,427,294円
28	67,297,288円	3,884,775円	64,117,897円	1,807,899円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 317 万 9,391 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 207 万 6,876 円の黒字となっている。

一般会計決算収支の推移

区 分	28年度	27年度
歳入総額 A	67,297,288円	63,412,513円
歳出総額 B	64,117,897円	62,309,998円
歳入歳出差引額 (A-B) C	3,179,391円	1,102,515円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	3,179,391円	1,102,515円
単年度収支 E-前年度のE	2,076,876円	△462,151円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳入決算状況

区 分		28年度 A	27年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額		67,295,000円	63,760,000円	3,535,000円
調 定 額		67,297,288円	63,412,513円	3,884,775円
収 入 済 額	金 額	67,297,288円	63,412,513円	3,884,775円
	予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	99.46%	0.54%
	調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額		0円	0円	0円
不 納 欠 損 額		0円	0円	0円

予算現額 6,729 万 5,000 円に対し、収入済額は 6,729 万 7,288 円で、前年度に比べ 388 万 4,775 円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は 100.00%で、前年度に比べ 0.54 ポイント増加している。

調定額に対する収納率は 100.00%で、前年度と同率となっている。

イ 財源別収入状況

財源別収入状況は、次表のとおりである。

一般会計一般財源及び特定財源年度別比較表

財源別	区分	28年度		27年度		増、減(△)	
		決 算 額	構 成 比	決 算 額	構 成 比	金 額	構 成 比
一 般 財 源	分担金及び 負担金	円 64,278,000	% 95.51	円 60,875,000	% 96.00	円 3,403,000	% △ 0.49
	繰 越 金	1,102,515	1.64	1,564,666	2.47	△462,151	△ 0.83
	諸 収 入	3,020	0.00	7,041	0.01	△4,021	△ 0.01
	繰 入 金	1,908,000	2.84	941,834	1.48	966,166	1.36
	小 計	67,291,535	99.99	63,388,541	99.96	3,902,994	0.03
特 定 財 源	国庫支出金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	県 支 出 金	0	0.00	0	0.00	0	0.00
	財 産 収 入	5,753	0.01	23,972	0.04	△18,219	△ 0.03
	小 計	5,753	0.01	23,972	0.04	△18,219	△ 0.03
合 計		67,297,288	100.00	63,412,513	100.00	3,884,775	0.00

一般財源は 6,729 万 1,535 円で、前年度に比べ 390 万 2,994 円の増加となっている。歳入総額に占める割合は 99.99%で、前年度に比べ 0.03 ポイント増加している。

特定財源は 5,753 円で、前年度に比べ 1 万 8,219 円の減少となっており、歳入総額に占める割合は 0.01%で、前年度に比べ 0.03 ポイント減少している。

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 分担金及び負担金

予算現額 6,427 万 8,000 円に対し、収入済額は 6,427 万 8,000 円で、同額となっている。

前年度に比べ事務費負担金が 340 万 3,000 円増加している。

項 別 状 況

項	28年度			27年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
負 担 金	64,278,000	64,278,000	100.00	60,875,000	60,875,000	100.00	3,403,000

第2款 財産収入

予算現額 5,000 円に対し、収入済額は 5,753 円で、753 円の増加となっている。

財政調整基金利子は前年度に比べ 1 万 8,219 円減少している。

項 別 状 況

項	28年度			27年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
財 産 運 用 収 入	5,000	5,753	115.06	23,000	23,972	104.23	△18,219

第3款 繰越金

予算現額 110 万 2,000 円に対し、収入済額は 110 万 2,515 円で、515 円の増加となっている。

前年度に比べ前年度繰越金が 46 万 2,151 円減少している。

項 別 状 況

項	28年度			27年度			増、減(△)
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	A - B
	円	円	%	円	円	%	円
繰 越 金	1,102,000	1,102,515	100.05	1,564,000	1,564,666	100.04	△462,151

第4款 諸収入

予算現額 2,000 円に対し、収入済額は 3,020 円で、1,020 円の増加となっている。
 預金利子の収入済額は 0 円で、前年度に比べ 1,571 円の減少となっている。
 雑入の収入済額は 3,020 円で、前年度に比べ 2,450 円の減少となっている。

項別状況

項	28年度			27年度			増、減(△) A - B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
	円	円	%	円	円	%	円
預金利子	1,000	0	0.00	1,000	1,571	157.10	△1,571
雑入	1,000	3,020	302.00	5,000	5,470	109.40	△2,450
計	2,000	3,020	151.00	6,000	7,041	117.35	△4,021

第5款 繰入金

予算現額 190 万 8,000 円に対し、収入済額は 190 万 8,000 円で、同額となっている。
 前年度に比べ財政調整基金繰入金が 96 万 6,166 円増加している。

項別状況

項	28年度			27年度			増、減(△) A - B
	予算現額	収入済額		予算現額	収入済額		
		A	収入歩合		B	収入歩合	
	円	円	%	円	円	%	円
基金繰入金	1,908,000	1,908,000	100.00	1,292,000	941,834	72.90	966,166

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

一般会計歳出決算状況

区 分		28年度 A	27年度 B	増、減(△) A-B
予算現額		67,295,000円	63,760,000円	3,535,000円
支出済額		64,117,897円	62,309,998円	1,807,899円
執行率		95.28%	97.73%	△2.45%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円	0円
	計	0円	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%	0.00%
不用額		3,177,103円	1,450,002円	1,727,101円

予算現額 6,729 万 5,000 円に対し、支出済額は 6,411 万 7,897 円で、前年度に比べ 180 万 7,899 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 95.28%となっている。

翌年度繰越額は 0 円である。

また、不用額は 317 万 7,103 円で、前年度に比べ 172 万 7,101 円の増加となっている。

不用額の主なものは、議会費の委託料、総務費の役務費、負担金補助及び交付金等で、経費の縮減などによるものである。

イ 用途別決算状況

歳出決算額を「人件費」及び「物件費その他の経費」に分類すると、人件費は 92 万 6,689 円で、前年度に比べ 1 万 4,391 円の増加となっており、歳出総額に占める割合は 1.44%である。

物件費その他の経費は 6,319 万 1,208 円で、前年度に比べ 179 万 3,508 円の増加となっており、歳出総額に占める割合は 98.56%である。

一般会計用途別決算状況

年度	区分	人 件 費		物件費その他の経費	
		金 額	構成比	金 額	構成比
27		912,298円	1.46%	61,397,700円	98.54%
28		926,689円	1.45%	63,191,208円	98.55%

ウ 款別決算状況

款別の決算状況は、次のとおりである。

第1款 議会費

予算現額 84万8,000円に対し、支出済額は72万6,727円で、執行率85.70%である。
前年度に比べ3万1,070円の増加となっている。

項別状況

項	28年度					27年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
	円	円	%	円	円	円	円
議会費	848,000	726,727	85.70	0	121,273	695,657	31,070

第2款 総務費

予算現額 6,594万7,000円に対し、支出済額は6,339万1,170円で、執行率は96.12%である。

前年度に比べ177万6,829円の増加となっている。

項別状況

項	28年度					27年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
	円	円	%	円	円	円	円
総務管理費	65,785,000	63,321,300	96.25	0	2,463,700	61,499,957	1,821,343
選挙費	84,000	45,870	54.61	0	38,130	90,384	△44,514
監査委員費	78,000	24,000	30.77	0	54,000	24,000	0
計	65,947,000	63,391,170	96.12	0	2,555,830	61,614,341	1,776,829
説明	◎主な対前年度増減の状況 (項 総務管理費) (目 一般管理費) 手数料の増 180万 3,574円 (1.14倍) 電算委託料等の増 183万 6,000円 (3.02倍) 職員派遣負担金の減 175万 9,996円 (0.94倍) (項 選挙費) (目 連合議会議員選挙費) 通信運搬費の減 4万 8,370円 (0.25倍)						

第3款 予備費

前年度と同様に充当がなく、全額不用となっている。

項別状況

項	28年度					27年度 支出済額 B	増、減(△) A-B
	予算現額	支出済額 A	執行率	翌年度 繰越額	不用額		
	円	円	%	円	円	円	円
予備費	500,000	0	0.00	0	500,000	0	0

3 後期高齢者医療特別会計

後期高齢者医療特別会計の決算額は、歳入 2,638 億 3,651 万 4,088 円（予算現額に対する収入歩合 100.00%）、歳出 2,637 億 3,240 万 5,325 円（予算現額に対する執行率 99.96%）、歳入歳出差引額 1 億 410 万 8,763 円となっている。

次に、決算規模の推移は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計決算規模の推移

年度	歳 入		歳 出	
	決 算 額	対前年度 増、減(△)額	決 算 額	対前年度 増、減(△)額
27	263,018,180,176円	5,189,747,694円	262,968,244,054円	5,234,888,535円
28	263,836,514,088円	818,333,912円	263,732,405,325円	764,161,271円

本年度決算収支の状況は次表のとおりで、歳入歳出差引額 1 億 410 万 8,763 円の余剰金を生じており、実質収支として同額の黒字決算となっている。

また、単年度収支では 5,417 万 2,641 円の黒字となっている。

後期高齢者医療特別会計決算収支の推移

区 分	28年度	27年度
歳入総額 A	263,836,514,088円	263,018,180,176円
歳出総額 B	263,732,405,325円	262,968,244,054円
歳入歳出差引額 (A-B) C	104,108,763円	49,936,122円
翌年度へ繰り 越すべき財源 (既収入財源) D	0円	0円
実質収支 (C-D) E	104,108,763円	49,936,122円
単年度収支 E-前年度のE	54,172,641円	△45,140,841円

(1) 歳 入

ア 決算状況

歳入の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳入決算状況

区 分	28年度 A	27年度 B	増、減(△) A-B
予 算 現 額	263,837,588,000円	263,001,568,000円	836,020,000円
調 定 額	263,839,464,652円	263,020,509,816円	818,954,836円
金 額	263,836,514,088円	263,018,180,176円	818,333,912円
収入済額 予算現額に対する 比率(収入歩合)	100.00%	100.01%	△0.01%
収入済額 調定額に対する 比率(収納率)	100.00%	100.00%	0.00%
収 入 未 済 額	2,950,564円	2,329,640円	620,924円
不 納 欠 損 額	0円	0円	0円

予算現額 2,638 億 3,758 万 8,000 円に対し、収入済額は 2,638 億 3,651 万 4,088 円で、前年度に比べ 8 億 1,833 万 3,912 円の増加となっている。

予算現額に対する収入歩合は 100.00%で、前年度に比べ 0.01%減少している。

調定額に対する収納率は 100.00%となっているが、諸収入の返納金において 295 万 564 円の収入未済額が生じ、前年度に比べ 62 万 924 円増加している。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予 算 現 額 A	収 入 済 額 B	収入歩合 $\frac{B}{A}$	予算現額に比し 増、減(△) B-A
	円	円	%	円
市 町 村 支 出 金	45,181,712,000	45,183,497,808	100.00	1,785,808
うち保険料等負担金	23,552,426,000	23,554,212,635	100.01	1,786,635
うち療養給付費負担金	21,049,286,000	21,049,285,173	100.00	△827
国 庫 支 出 金	88,687,418,000	88,687,420,154	100.00	2,154
うち療養給付費等負担金	63,413,279,000	63,413,279,907	100.00	907
うち高額医療費負担金	1,097,591,000	1,097,591,897	100.00	897
県 支 出 金	21,424,512,000	21,424,512,226	100.00	226
うち療養給付費等負担金	20,220,858,000	20,220,858,315	100.00	315
うち高額医療費負担金	1,161,991,000	1,161,990,911	100.00	△89
支 払 基 金 交 付 金	102,126,169,000	102,126,169,000	100.00	0
特 別 高 額 医 療 費 共 同 事 業 交 付 金	73,950,000	73,950,906	100.00	906
財 産 収 入	2,107,000	2,106,331	99.97	△669
繰 入 金	5,790,087,000	5,790,086,443	100.00	△557
繰 越 金	49,937,000	49,936,122	100.00	△878
諸 収 入	501,696,000	498,835,098	99.43	△2,860,902
計	263,837,588,000	263,836,514,088	100.00	△1,073,912

収入済額は2,638億3,651万4,088円で、この主なものは市町村支出金、国庫支出金、県支出金、支払基金交付金である。予算現額に対する収入歩合は100.00%で、予算現額に対する増収の主なものは市町村支出金のうち保険料等負担金である。

保険料等負担金の内訳は次表のとおりである。

保険料等負担金内訳の状況

年度	保険料	延滞金	基盤安定分	計
	円	円	円	円
27	16,429,309,442	2,569,911	4,884,342,584	21,316,221,937
28	18,272,117,802	2,501,053	5,279,593,780	23,554,212,635

保険料等負担金は235億5,421万2,635円で、前年度に比べ22億3,799万698円の増加となっている。

保険料収入と被保険者数の状況は次表のとおりである。

保険料収入と被保険者数等の状況

年度	保険料収入 A	年間平均 被保険者数 B	1人当たり 保険料収入 $\frac{A}{B}$
	円	人	円
27	16,429,309,442	268,464	61,197
28	18,272,117,802	275,094	66,421

保険料収入は182億7,211万7,802円で、前年度に比べ18億4,280万8,360円の増加となっている。

年間平均被保険者数は27万5,094人で、前年度に比べ6,630人の増加となっている。

1人当たりの保険料収入は6万6,421円で、前年度に比べ5,224円増加となっている。

保険料等負担金については、市町村が広域連合に納付すべき額を調定しているため調定額に対する収納率は100.00%となっている。保険料については、13、14ページの表のとおり市町村における調定額184億4,190万9,448円に対し、収納額は182億6,929万285円となっている。収納率については、現年分が99.49%で、前年度に比べ0.03ポイント増加し、滞納繰越分が37.07%で、前年度に比べ0.52ポイント減少し、合計では98.94%で、前年度に比べ0.1ポイント上昇している。不納欠損額については2,791万3,954円となっている。広域連合の保険料収入と市町村における収納額が異なるのは、広域連合への納付が翌月以降となるため、会計年度のずれにより生じるものである。

なお、収納額の中には還付未済額が2,152万6,760円含まれており、前年度に比べ413万6,585円減少している。引き続き還付事務については、早期に還付が行えるように市町村と連携を図りたい。

保険料の収納率向上は、財政の健全化において極めて重要であり、不納欠損処分は被保険者の不公平感を生み出す要因でもあることから、収納対策実施計画に基づき、市町村と連携を図りながら、積極的かつ効果的な収納対策に取り組まれるよう要望する。

また、諸収入のうち返納金において、一部負担金の負担割合に係る差額請求等に伴う収入未済額が295万564円生じている。負担の公平性を確保する観点からも、収入未済額の早期解消に努められたい。

【参考】 各市町村保険料収納状況

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 A-(B-C)	収納率 (B-C)/A	不納欠損額
		円	円	円	円	%	円
岡山市	現年分	6,727,668,900	6,695,561,314	8,056,400	40,163,986	99.40	0
	滞納繰越分	76,720,489	24,050,103	84,180	52,754,566	31.23	17,011,598
	合計	6,804,389,389	6,719,611,417	8,140,580	92,918,552	98.63	17,011,598
倉敷市	現年分	4,403,373,800	4,382,478,507	2,345,500	23,240,793	99.47	0
	滞納繰越分	30,367,342	13,819,773	26,800	16,574,369	45.42	4,043,636
	合計	4,433,741,142	4,396,298,280	2,372,300	39,815,162	99.10	4,043,636
津山市	現年分	885,780,600	883,043,360	1,321,180	4,058,420	99.54	0
	滞納繰越分	7,141,243	3,084,375	0	4,056,868	43.19	1,007,900
	合計	892,921,843	886,127,735	1,321,180	8,115,288	99.09	1,007,900
玉野市	現年分	741,394,100	739,089,726	714,400	3,018,774	99.59	0
	滞納繰越分	7,599,300	1,983,000	9,700	5,626,000	25.96	963,050
	合計	748,993,400	741,072,726	724,100	8,644,774	98.84	963,050
笠岡市	現年分	524,665,700	521,548,700	1,115,600	4,232,600	99.19	0
	滞納繰越分	5,138,600	1,814,100	500	3,325,000	35.29	644,550
	合計	529,804,300	523,362,800	1,116,100	7,557,600	98.57	644,550
井原市	現年分	397,499,100	396,098,850	81,100	1,481,350	99.62	0
	滞納繰越分	2,604,300	672,250	0	1,932,050	25.81	174,050
	合計	400,103,400	396,771,100	81,100	3,413,400	99.14	174,050
総社市	現年分	603,513,600	603,708,100	2,418,100	2,223,600	99.63	0
	滞納繰越分	3,789,050	1,203,550	0	2,585,500	31.76	1,370,100
	合計	607,302,650	604,911,650	2,418,100	4,809,100	99.20	1,370,100
高梁市	現年分	334,561,400	334,699,600	790,000	651,800	99.80	32,800
	滞納繰越分	1,953,402	869,421	0	1,083,981	44.50	529,500
	合計	336,514,802	335,569,021	790,000	1,735,781	99.48	562,300
新見市	現年分	334,434,200	333,579,700	332,200	1,186,700	99.64	0
	滞納繰越分	3,921,900	1,964,900	61,800	2,018,800	48.52	228,500
	合計	338,356,100	335,544,600	394,000	3,205,500	99.05	228,500
備前市	現年分	393,905,200	393,005,350	979,100	1,878,950	99.52	0
	滞納繰越分	3,435,350	2,022,500	0	1,412,850	58.87	95,850
	合計	397,340,550	395,027,850	979,100	3,291,800	99.17	95,850
瀬戸内市	現年分	350,077,900	349,711,900	470,400	836,400	99.76	0
	滞納繰越分	2,591,138	1,033,262	16,600	1,574,476	39.23	60,500
	合計	352,669,038	350,745,162	487,000	2,410,876	99.31	60,500
赤磐市	現年分	447,625,000	447,338,500	1,123,300	1,409,800	99.68	0
	滞納繰越分	2,684,100	1,404,980	0	1,279,120	52.34	391,120
	合計	450,309,100	448,743,480	1,123,300	2,688,920	99.40	391,120
真庭市	現年分	421,464,400	420,534,400	239,200	1,169,200	99.72	0
	滞納繰越分	1,681,780	887,680	200	794,300	52.77	0
	合計	423,146,180	421,422,080	239,400	1,963,500	99.53	0
美作市	現年分	252,317,800	251,798,100	196,600	716,300	99.71	0
	滞納繰越分	2,458,406	719,106	0	1,739,300	29.25	0
	合計	254,776,206	252,517,206	196,600	2,455,600	99.03	0
浅口市	現年分	394,666,700	391,781,990	171,100	3,055,810	99.22	0
	滞納繰越分	2,923,300	475,400	0	2,447,900	16.26	0
	合計	397,590,000	392,257,390	171,100	5,503,710	98.61	0

市町村名		調定額 A	収納額 B	還付未済額 C	収入未済額 A-(B-C)	収納率 (B-C)/A	不納欠損額
和 気 町	現 年 分	162,319,700	162,013,000	348,100	654,800	99.59	0
	滞納繰越分	477,900	157,800	0	320,100	33.01	142,500
	合 計	162,797,600	162,170,800	348,100	974,900	99.40	142,500
早 島 町	現 年 分	131,267,800	131,198,900	86,600	155,500	99.88	0
	滞納繰越分	1,194,500	725,300	0	469,200	60.71	293,200
	合 計	132,462,300	131,924,200	86,600	624,700	99.52	293,200
里 庄 町	現 年 分	110,356,100	110,329,700	8,300	34,700	99.96	500
	滞納繰越分	468,600	245,100	0	223,500	52.30	218,900
	合 計	110,824,700	110,574,800	8,300	258,200	99.76	219,400
矢 掛 町	現 年 分	149,323,900	148,818,270	66,200	571,830	99.61	0
	滞納繰越分	1,093,530	572,580	0	520,950	52.36	221,800
	合 計	150,417,430	149,390,850	66,200	1,092,780	99.27	221,800
新 庄 村	現 年 分	6,839,700	6,834,900	0	4,800	99.92	0
	滞納繰越分	22,000	11,000	0	11,000	50.00	0
	合 計	6,861,700	6,845,900	0	15,800	99.76	0
鏡 野 町	現 年 分	94,954,400	94,635,500	0	318,900	99.66	0
	滞納繰越分	512,500	330,400	0	182,100	64.46	47,300
	合 計	95,466,900	94,965,900	0	501,000	99.47	47,300
勝 央 町	現 年 分	81,346,400	81,265,000	9,200	90,600	99.88	0
	滞納繰越分	491,500	489,100	0	2,400	99.51	0
	合 計	81,837,900	81,754,100	9,200	93,000	99.88	0
奈 義 町	現 年 分	49,149,800	48,892,900	0	256,900	99.47	0
	滞納繰越分	233,867	181,467	0	52,400	77.59	0
	合 計	49,383,667	49,074,367	0	309,300	99.37	0
西 栗 倉 村	現 年 分	11,980,500	11,980,500	0	0	100.00	0
	滞納繰越分	0	0	0	0		0
	合 計	11,980,500	11,980,500	0	0	100.00	0
久 米 南 町	現 年 分	47,265,000	47,241,200	64,100	87,900	99.81	0
	滞納繰越分	51,800	24,100	0	27,700	46.52	0
	合 計	47,316,800	47,265,300	64,100	115,600	99.75	0
美 咲 町	現 年 分	136,051,700	135,687,534	84,900	449,066	99.66	0
	滞納繰越分	1,905,351	1,324,337	0	581,014	69.50	0
	合 計	137,957,051	137,011,871	84,900	1,030,080	99.25	0
吉 備 中 央 町	現 年 分	85,848,500	86,065,400	305,400	88,500	99.89	0
	滞納繰越分	796,300	283,800	0	512,500	35.63	436,600
	合 計	86,644,800	86,349,200	305,400	601,000	99.30	436,600
合 計	現 年 分	18,279,651,900	18,208,940,901	21,326,980	92,037,979	99.49	33,300
	滞納繰越分	162,257,548	60,349,384	199,780	102,107,944	37.07	27,880,654
	合 計	18,441,909,448	18,269,290,285	21,526,760	194,145,923	98.94	27,913,954

(2) 歳 出

ア 決算状況

歳出の決算状況は、次表のとおりである。

後期高齢者医療特別会計歳出決算状況

区 分	28年度 A	27年度 B	増、減(△) A-B
予算現額	263,837,588,000円	263,001,568,000円	836,020,000円
支出済額	263,732,405,325円	262,968,244,054円	764,161,271円
執行率	99.96%	99.99%	△0.03%
翌年度繰越額	継続費逡次繰越	0円	0円
	繰越明許費	0円	0円
	事故繰越し	0円	0円
	計	0円	0円
	予算現額に対する比率	0.00%	0.00%
不用額	105,182,675円	33,323,946円	71,858,729円

予算現額 2,638 億 3,758 万 8,000 円に対し、支出済額は 2,637 億 3,240 万 5,325 円で、前年度に比べ 7 億 6,416 万 1,271 円の増加となっている。

予算現額に対する執行率は 99.96%となっている。

また、不用額は 1 億 518 万 2,675 円で、前年度に比べ 7,185 万 8,729 円の増加となっている。

イ 款別決算状況

款別の決算状況は、次表のとおりである。

款	予算現額 A	支出済額 B	執行率 $\frac{B}{A}$	翌年度繰越額 C	不用額 A-B-C
	円	円	%	円	円
総務費	606,814,000	606,019,484	99.87	0	794,516
保険給付費	246,992,316,000	246,992,310,943	100.00	0	5,057
県財政安定化基金 拠出金	95,939,000	95,938,436	100.00	0	564
特別高額医療費 共同事業拠出金	79,330,000	79,329,371	100.00	0	629
保健事業費	198,456,000	198,456,000	100.00	0	0
基金積立金	10,041,760,000	9,937,879,065	98.97	0	103,880,935
諸支出金	5,822,473,000	5,822,472,026	100.00	0	974
うち被保険者還付金	31,142,000	31,141,683	100.00	0	317
うち国庫負担金等償還金	5,790,087,000	5,790,086,443	100.00	0	557
予備費	500,000	0	0.00	0	500,000
計	263,837,588,000	263,732,405,325	99.96	0	105,182,675

支出総額は2,637億3,240万5,325円で、この主なものは保険給付費、翌年度における清算のための基金積立金、前年度清算のための償還金である。

予算現額2,638億3,758万8,000円に対する執行率は99.96%である。

不用額の主なものは、総務費の時間外手当及び基金積立金の後期高齢者医療給付費準備基金積立金などである。

保健事業については、被保険者の健康保持増進のため策定したデータヘルス計画を基本とし、その目標達成のため市町村との協力・連携を深め、より効果的かつ効率的な事業の実施を図りたい。

療養諸費の状況は次表のとおりである。

療 養 諸 費 の 状 況

年度	療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	療養諸費 件数 C	一人当たり の療養諸費 $\frac{A}{B}$	一人当たりの 年間受診件数 $\frac{C}{B}$
	円	%	人	件	円	件
27	235,395,167,387	103.69	268,464	7,803,547	876,822	29.07
28	234,907,015,451	99.79	275,094	8,011,579	853,915	29.12

(注)「療養諸費額」は審査支払手数料を控除した額。

高額療養諸費の状況は次表のとおりである。

高 額 療 養 諸 費 の 状 況

年度	高額療養諸費額 A	前年度比	年間平均 被保険者数 B	高額療養 諸費件数 C	一人当たりの 高額療養諸費 $\frac{A}{B}$
	円	%	人	人	円
27	10,702,304,814	108.66	268,464	564,558	39,865
28	10,763,366,214	100.57	275,094	583,843	39,126

保健事業費の状況は次表のとおりである。

保健事業による健康診査の受診状況

年度	対象者数 A	受診者数 B	受診率 $\frac{B}{A}$	受診率の増減
	人	人	%	%
27	255,834	33,768	13.20	3.30
28	254,857	34,710	13.62	0.42

(注1)「対象者数」は4月1日現在の被保険者数から受診対象外者を引いた数。

(注2)「受診者数」は個別健診、集団健診の合計。

(注3)「対象者数」は生活習慣病通院者等を含めた数。

【参考】各市町村健診受診者数の状況

市町村名	被保険者数 (4月1日被保険)	対象者数	集団健診			個別健診			受診者数 合計	受診率
			課税	非課税	小計	課税	非課税	小計		
	人	人	人	人	人	人	人	人	人	%
1 岡山市	82,751	81,060	6	0	6	9,926	835	10,761	10,767	13.28%
2 倉敷市	57,677	56,565	1,143	263	1,406	3,209	1,820	5,029	6,435	11.38%
3 津山市	15,716	14,251	121	50	171	1,678	965	2,643	2,814	19.75%
4 玉野市	10,497	10,217	28	3	31	854	164	1,018	1,049	10.27%
5 笠岡市	9,356	9,173	450	208	658	243	118	361	1,019	11.11%
6 井原市	8,101	8,101	462	230	692	521	337	858	1,550	19.13%
7 総社市	8,695	7,651	130	0	130	188	0	188	318	4.16%
8 高梁市	7,431	7,284	128	98	226	37	22	59	285	3.91%
9 新見市	7,344	6,690	656	312	968	168	92	260	1,228	18.36%
10 備前市	6,821	6,656	1	4	5	936	594	1,530	1,535	23.06%
11 瀬戸内市	6,008	5,541	111	31	142	144	50	194	336	6.06%
12 赤磐市	6,512	6,388	0	0	0	162	47	209	209	3.27%
13 真庭市	10,020	9,230	0	0	0	1,629	832	2,461	2,461	26.66%
14 美作市	6,443	6,296	644	487	1,131	0	0	0	1,131	17.96%
15 浅口市	6,187	4,400	96	18	114	39	17	56	170	3.86%
16 和気町	2,863	1,402	0	0	0	117	59	176	176	12.55%
17 早島町	1,554	1,457	193	46	239	28	6	34	273	18.74%
18 里庄町	1,601	1,456	297	68	365	0	0	0	365	25.07%
19 矢掛町	2,936	1,415	163	54	217	0	0	0	217	15.34%
20 新庄村	248	214	18	6	24	0	3	3	27	12.62%
21 鏡野町	2,668	2,443	283	186	469	131	135	266	735	30.09%
22 勝央町	1,799	1,091	205	68	273	0	0	0	273	25.02%
23 奈義町	1,118	1,104	165	78	243	0	0	0	243	22.01%
24 西粟倉村	339	306	47	46	93	27	20	47	140	45.75%
25 久米南町	1,246	1,222	86	51	137	0	0	0	137	11.21%
26 美咲町	3,345	2,152	419	274	693	0	0	0	693	32.20%
27 吉備中央町	2,757	1,092	51	7	58	50	16	66	124	11.36%
合計	272,033	254,857	5,903	2,588	8,491	20,087	6,132	26,219	34,710	13.62%

4 財産に関する調書

平成28年度における財産の取得及び処分の異動状況は、次のとおりである。

(1) 公有財産

本年度末における公有財産はなく、本年度中の異動はない。

(2) 物品

本年度末における取得金額100万円以上の物品は3点で、本年度中の異動はない。

(3) 債権

本年度末における債権はなく、本年度中の異動はない。

(4) 基金

本年度末における基金は2基金45億5,960万6,303円で、前年度末より1,115万3,441円減少している。これは、岡山県後期高齢者医療広域連合財政調整基金が135万247円、岡山県後期高齢者医療広域連合後期高齢者医療給付費準備基金が980万3,194円減少したためである。

基金名	前年度末 現在高	決算年度 中増減	決算年度末 現在高
岡山県後期高齢者医療広域連合 財政調整基金	25,748,900	△1,350,247	24,398,653
岡山県後期高齢者医療広域連合 後期高齢者医療給付費準備基金	4,545,010,844	△9,803,194	4,535,207,650

「前年度末現在高」とは平成28年3月31日現在の数値。
「決算年度末現在高」とは平成29年3月31日現在の数値。
「財政状況公表に関する条例」に基づく財政状況の数値。

5 むすび

平成28年度の決算審査の概要は以上のとおりである。

本年度の決算規模は一般会計、特別会計を合わせた総額で、歳入2,639億381万1,376円、歳出2,637億9,652万3,222円となり、前年度に比べ歳入は8億2,221万8,687円、歳出は7億6,596万9,170円それぞれ増加している。

これを決算収支でみると、形式収支（歳入歳出差引額）は、一般会計で317万9,391円の黒字、特別会計で1億410万8,763円の黒字となっており、実質収支も同額の黒字決算となっている。また、単年度収支においては、一般会計で207万6,876円の黒字、特別会計で5,417万2,641円の黒字となっている。

歳入について、予算現額に対する歳入決算額の割合は、一般会計で100.00%、特別会計で100.00%となっている。また、調定額に対する割合は一般会計で100.00%、特別会計で100.00%となっているが、特別会計において、返納金の収入未済額が295万564円生じている。さらに、市町村における保険料の収納率は、現年分と滞納繰越分を合わせて98.94%となっており、1億9,414万5,923円の収入未済額が生じている。保険料の収納額は前年度に比べ18億4,119万2,696円増加しているが、収入未済額も前年度に比べ251万3,724円増加している。財政の健全化と被保険者間の公平性を保つためにも、引き続き市町村と連携を図りながら収納対策に取り組み、なお一層努力されるよう要望する。

歳出については、前年度に比べ一般会計で180万7,899円の増加、特別会計で7億6,416万1,271円の増加となっている。一般会計については、手数料及び電算委託料等の増加によるものである。特別会計については、歳出総額のうち93.65%を占める保険給付費は微減したものの、翌年度における国庫負担金等償還のための基金積立金が増加したことによるものである。

「厚生労働白書（平成28年度版）」によると、後期高齢者については虚弱（「フレイル」）の進行が顕著なため、現役世代の肥満対策に重点を置いた生活習慣病対策からフレイルに着目した対策に徐々に転換することが必要であり、生活習慣病の発症予防というよりは、生活習慣病の重症化予防や低栄養、運動機能・認知機能の低下などのフレイルの進行を予防する取組みが重要との指摘がなされている。広域連合においても、レセプトデータや健診等情報を活用しながら高齢者の特性を踏まえた効果的な保健事業について、市町村や医療機関等と連携し取り組んでいただきたい。

また国において、後期高齢者医療制度の持続性、世代内の負担の公平性及び負担能力に応じた負担の観点から、保険料軽減特例、高額療養費制度等の見直しが段階的になされる予定であるが、被保険者に対し混乱や不安を招かぬよう、広域連合として十分な周知、広報及び丁寧な説明に努めていただきたい。

さらに、給付の根拠となる医療機関等のレセプトに対しては引き続き点検を厳格に行い、不正請求や過誤請求、第三者求償対象等の洗い出しに努め、適正な医療給付事務を遂行していただきたい。

今後とも、制度を維持していくために国の動向や社会情勢を的確に把握した予算編成を行い、計画的な資金収支に留意して確実かつ効果的な運用に努め、被保険者が安心して医療を受けることができるよう積極的に取り組んでいただきたい。